

[CASE 07]

今野 利克さん

鶴岡市消防団 鶴岡第1方面隊第1分団副分団長

地域を守りながら 自分のスキルを高められる



消防団活動に以前から興味があったと言う今野さんは、知人からの勧めもあり入団。活動に従事してからは、災害に対する意識が高まったと言います。

「火災が発生したらどう対応するか、誰か倒れてしまった時はどうするかなど考えるようになりました。その他にはいつ災害が起きても動けるよう、車に必要な装備を載せています」

市民の生命や財産を守るため、有事への準備を怠らない今野さん。団活動は地域貢献だけでなく、自分のためにもなっていると続けます。

「火災現場などでの自分の役目を終えて帰宅した時に『今日も活動を頑張ったな』と充実感があります。また活動をしているとさまざまな人たちとコミュニティを築けます。仕事以外で関わっている数あるコミュニティの中でも大切なつながりの一つです。みんなで団結し目的達成することはやりがいにもなっています」

確かなやりがいを感じながら、熱心に活動に取り組む今野さん。これからも町を守るために活動を続けていきます。

Q1 どんな活動をしていますか？

主な活動として応急手当普及員の資格を有し、地域の住民の方や小学校教員向けに、心肺蘇生法やAEDの実践方法の指導を行っています。地域の高校で開催された職業説明会に出向き、消防団とはどのようなものか説明を行うなど、消防団の広報活動にも取り組んでいます。

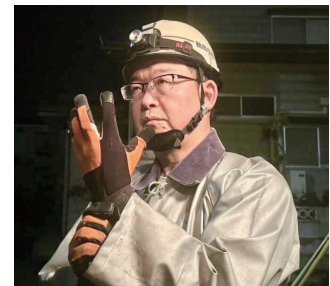


Q2 仕事や私生活と両立できますか？

消防団は「出来る時に、出来る人が、出来る事を」という考えの下で活動している組織ですので、プライベートの時間を大幅に制限されることはありません。家族と過ごす時間を大切にしつつ、趣味なども楽しみながら無理のない範囲で活動することができますよ。



自分の時間を大切にしながら活動できますよ。
ぜひ一緒に地域を守っていきましょう！



1. 消防団活動を理解・応援してくれる家族
2. 今後の消防団について検討する会議
3. いざ出動！

2

3